

「芸工オリジナルグッズ 水引と豆皿のデザインコンペ」 審査結果

芸工の学生による芸工オリジナルの水引と豆皿のデザインコンペを行いました。
これらのグッズは、大学間の公的な訪問やご来訪の際の贈答品として使用されます。

水引 「bloom」

工業設計学科4年 宇山 明穂

芸術工学部の特色である、領域の異なる5コースの連携から生まれる創造に着想を得ました。5連の鮑結びは5コースの連携を表しており、端を引いてもほどけない鮑結びにすることで連携の強さを表現しました。中央には5枚の花びらからなる梅の花を配置し、5つの領域の学びがひとつになって咲く様子を表しています。梅の花は福岡県の県花でもあります。

このボトルリボンを通して、芸術工学部の良さが伝わることを願います。



豆皿 「年輪」

芸術工学府研究生 謝 敏

人生や木にも年輪があります。十年樹木、百年樹人。九州大学はまさにそのように人材を育成する大学です。また芸工のマークには「年輪のように、零から焦らず急がず発展を願って、成長するように」との思いが込められているそうです。それらに波佐見焼の特徴である白磁の美しさと、繊細な染付の技術を活かすよう学部コースの色とあわせました。パッケージを開いた時の伸びやかでありながら淡い色合いで、海外の方にもやさしい日本のイメージが伝わればと思います。

